

革命的共産主義国際潮流 (RCIT)

7月25日 オーストリア ウィーン

親愛なる同志諸君

わが革命的共産主義国際潮流 (RCIT) およびそのパキスタン・スリランカ・占領パレスチナ・米国・オーストリア各支部は、国際主義者としての熱烈なる挨拶を送ります。全学連・反戦青年委員会・革共同革マル派によって結成された第51回国際反戦集会実行委員会がこの集会を組織されたことに、祝意を表す。

日本は世界の帝国主義列強のひとつである。だから、諸君が安倍晋三首相ひきいる反動政権の軍国主義的政策に反対し労働者・青年層を結集してたたかっていることは、日本の人民にとってだけでなく世界の労働者階級にとっても大きな意味がある。諸君のこの闘いは、共産主義インターナショナリズムの原則にのっとったものである。その原則は、ドイツ労働者階級の指導者であったカール・リープクネヒトが提起した「主要な敵は自国にあり」というかの有名なスローガンに謳われている。RCITとその支部もこの原則を堅持している。この数か月間われわれは、フランスをはじめとするEU帝国主義が強行したマリへの軍事介入に反対し、帝国主義国家イスラエルと対峙するパレスチナ人民と連帯し、またシリア革命と連帯する闘いを積極的におしすすめてきた。われわれはまた、RCITオーストリア支部の指導的同志にたいするシオニストどもの攻撃をうち砕いた。この同志は、2012年11月、ガザ戦争の只中でパレスチナを支援してとりくまれたデモにおいて、シオニストを批判する演説をおこなった。この演説をおこなったカドで彼は裁判にかけられようとしていたのだ。

諸君は帝国主義者にたいしてだけでなく、日本の労働運動の内部に巣くっている帝国主義の手先・日本共産党のスターリニストどもにたいしても弾劾を浴びせている。これはまったく正しい。フランスのスターリニストどもが自国支配階級のマリへの帝国主義的介入を歓迎したように、また一九四八年にイスラエル共産党がパレスチナ人の追放を支持したように、日本のスターリニストも帝国主義の御主人様を支えている。日本独占ブルジョアジーは尖閣諸島の領有権を主張しているだけでなく、韓国にたいしても竹島の領有権をも主張しているが、このことを日本のスターリニストは擁護している。中国やソ連邦がいまだ墮落した労働者国家であった時にさえも、彼らは自国帝国主義を擁護したのだった（千島および歯舞群島と色丹島にかんしてなど）。

尖閣諸島をめぐる衝突は東アジアの覇権をめぐる日・米・中のあいだで激化している角逐のあらわれである、と諸君は言う。この見解にわれわれは同意する。この衝突は、覇権を求めまた半植民地世界の収奪による超過利潤を追い求める帝国主義列強間の対立が激化していることのあらわれだ。われわれはこのことを、最近発刊した『南の大略奪』という本の中で展開している。

諸君は言った。北京のスターリニスト権力者どもは『社会主義国』を自称しながらこの国の政治経済構造を国家資本主義に転換させたと。しかし、われわれは、中国が資本主義国家になったと言うだけでは十分ではないと考える。いかなる資本主義国家になったのかを明確にする必要がある。半植民地国なのか、それとも帝国主義国なのか？われわれの見解はこうだ。中国はますますその勢力圏を拡大し、資本輸出を進めつつある新興帝国主義国家である。

この問題は、マルクス主義理論の観点からして学問的に重要であるだけでなく、マルクス主義者の戦術の見地からしても重大な問題だ。マルクス主義者は日中の対立にかんじていかなる立場にたつべきか？もし中国が半植民地国であり日本は帝国主義国だとするならば、日本の革命家たちは日中対立において中国を支持する義務がある（もちろん、北京のスターリン主義的—資本家的支配者にたいする政治的弾劾は当然必要ではあるが）。他方、もし日・中ともに帝国主義国家だとするならば、革命的マルクス主義者は革命的敗北主義の態度をとらねばならない。すなわち、日本においても中国においても、「主要な敵は自国にあり」を明確にしなければならない。RCITは後者の見解をとる。諸君の見解はどうか？

さいごに、RCITが5月に発表した公開書簡「第5労働者インターナショナルをめざし革命的に団結した闘いを」という文書について、諸君の注意を喚起しておきたい。この文書には、国際階級闘争上の主要問題が列挙されているとともに、それらについて革命家はいかなる態度をとるべきかということが書かれている。とりわけ、労働者階級の指導部の危機が深まっていること、また、真に革命的な部分の協力と組織的合体の可能性を論議する必要があることが強調されている。諸君の見解をぜひとも聞かせてもらいたい。

諸君の集会の成功を祈る！

労働者階級とすべての被抑圧人民の解放のために、国際的階級闘争を推進しよう！革命的第五労働者インターナショナルの建設を推し進めよう！

国際主義者としての挨拶を送る

RCIT国際書記局